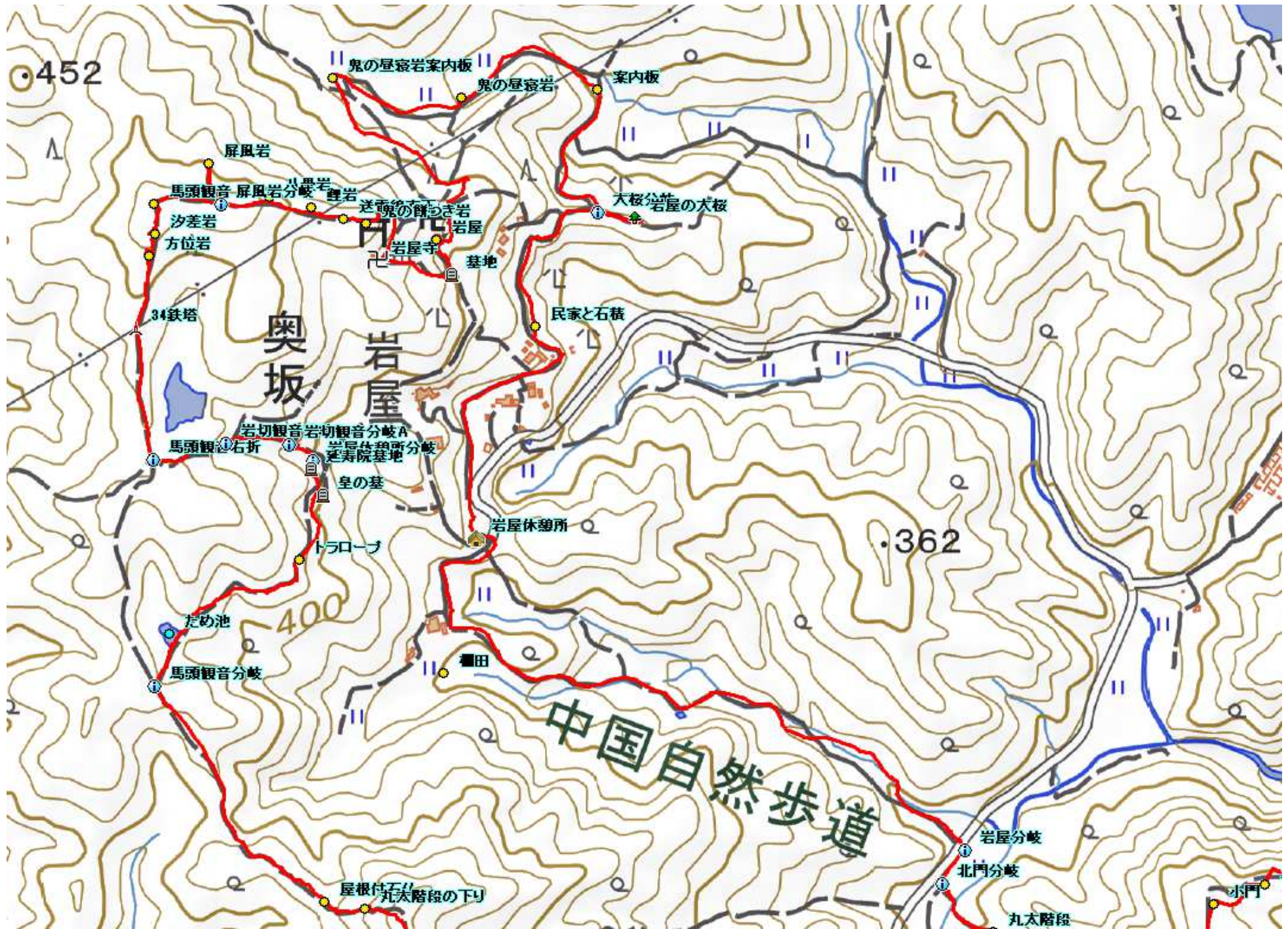




- 駐車場
- ↓ 0:20
- 犬墓山(443m)
- ↓ 0:30
- 皇の墓
- ↓ 0:20
- 馬頭観音
- ↓ 0:20
- 岩屋寺
- ↓ 0:12
- 鬼の昼寝岩
- ↓ 0:20
- 岩屋休憩所
- ↓ 0:30
- 北門
- ↓ 0:25
- 屏風折れの石垣
- ↓ 0:10
- 東門
- ↓ 0:15
- 南門
- ↓ 0:25
- 東屋
- ↓ 0:04
- 西門
- ↓ 0:12
- 駐車場

上部



下部



鬼ノ城周回 2020.10.08(木)雨

駐車場→犬墓山(443m)→皇の墓→馬頭観音→岩屋寺→鬼の昼寝岩→岩屋休憩所→北門→屏風折れの石垣→東門→南門→東屋→西門→駐車場



7:07 昨日、かしお温泉を出た頃より雨が降り出す。鬼ノ城ビジターセンターの駐車場にて車中泊。思案の結果小雨の中、歩き出す。



7:08 駐車場入り口の案内板。



7:10 道路の西側が登山口。



7:11 傍に「岩屋三十三観音」の案内板が立つ。



丸太階段に取付き上って行く。



7:15 間隔のある丸太階段を登る。



7:17 傾斜が緩み平坦となって来た。



7:19 最初の石仏に出会う。前述の「岩屋三十三観音」の一つであろうが何番かわからない。以後、多くの石仏に出会う。



7:21 ネズ 樹皮



7:22 最初の案内板を見る。



7:28 モチノキ 実



7:30 丸角岩を抜ける。



7:31 その先で東側に展望岩場を見る。



展望岩場から西門を望む。



7:32 望遠で西門を撮る。



7:36 赤土斜面を登る。



7:38 犬墓山直前の案内板。



7:39 登山道東側の近くに犬墓山(443m)の山頂があるが、山名板などは見当たらない。三等三角点:阿曾が設置されている。周囲を雑木で囲まれ展望は得られない。



7:40 この案内板が立つ分岐を東へ進む。



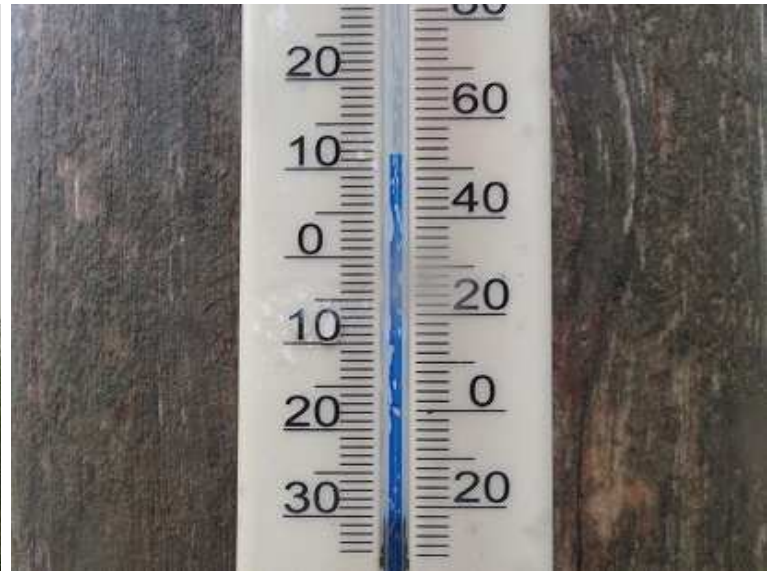
平坦路を奥へ進む。



7:42 犬墓山展望地があり、東の展望が得られる。



犬墓山展望地から何とか西門が確認できた。



傍の寒暖計は12℃に満たない。



7:49 分岐まで引き返し、緩く下って行く。



7:53 ネズ 実



7:55 丸太階段を下って行く。



7:58 最初の屋根付き石仏に出会う。



7:58 マスタケ



8:00 立入禁止のトラロープから右へ曲がる。



8:06 馬頭観音分岐に出会い、右の皇の墓へ進む。



8:10 ため池の土手を進む。



8:14 随所でみられる案内板。



8:16 トラロープが張られた崩落斜面の上部に行く。



8:17 皇の墓に到着。



皇の墓の案内柱。



8:21 山側に延寿院墓地を見る。



8:22 岩屋休憩所分岐に出会い、西へ進む。



8:24 岩切観音分岐Aを見送り、馬頭観音へ。



8:28 岩切観音分岐Bを見送る。



8:30 分岐に出会い、馬頭観音へ右折する。



8:32 ヤマハギ



8:33 オニテングタケ



8:35 中国電力新倉敷岡山線34鉄塔を見上げる。



8:39 方位岩に出会う。



方位岩の岩上から34鉄塔方向を望む。



8:46 汐差岩に出会う。



汐差岩の岩上から34鉄塔方向を望む。



8:51 馬頭観音到着。



拡大した馬頭観音頭部。



傍に立つ案内板。



8:55 東へ緩やかに下って行く。



8:56 屏風岩分岐に出会う。



8:58 屏風岩へ立ち寄る。



9:03 八畳岩の案内柱を見る。



北側に八畳岩を見る。



9:07 鯉岩の案内柱を見る。



北側に鯉岩を見る。



9:08 2体の石仏が多くみられる。



9:09 ヒイロタケ



送電線直下から見た北の山並み。



9:12 南側に鬼の餅つき岩を見る。



9:15 此処から岩屋寺へ降る。



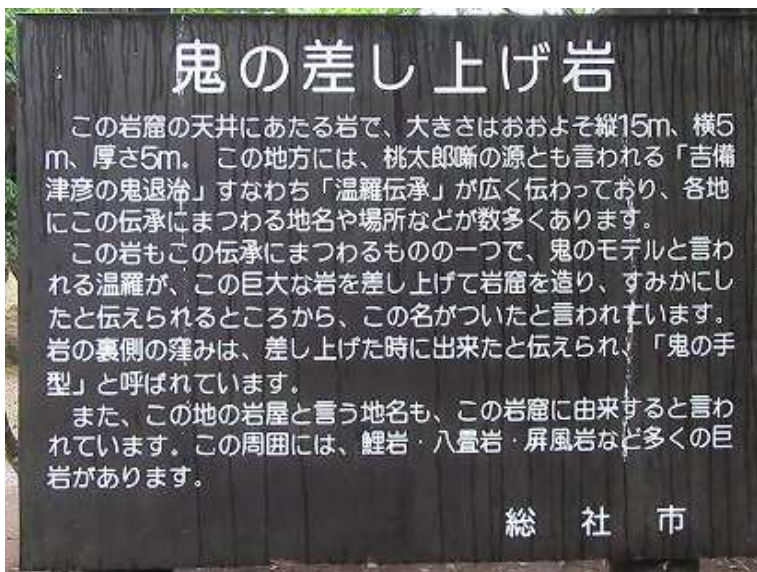
奥に岩屋寺が見えた。



鬼の差し上げ岩の札が架かる祠には不動明王を祀っている。



9:16 大きな岩の鬼の差し上げ岩。



9:20 説明板。



「八拾八ヶ所 恵鑑上人」と刻まれた石仏を見る。



9:21 岩屋寺の軒先で雨宿り。



格子から中を覗いて毘沙門天像を見る。



9:31 参道の石段を下る。



9:35 右に墓地を見送る。



9:36 岩屋へ石段を登る。



9:37 岩屋の案内板。



岩屋の境内。



9:41 予定外の鬼の昼寝岩へと向かう。



9:43 斜面を緩やかに下って行く。



9:45 この案内板から右に転回する。



緩やかに下って行く。



9:48 鬼の昼寝岩の案内板を見る。



9:49 北に鬼の昼寝岩を見る。



作業路を道なりに下って行く。



9:51 林の中に生活感のある廃棄物が散在し、家屋があったのだろう。



9:53 案内板を通過する。



9:55 廃道のような道を下って行く。



9:58 大桜分岐に出会う。



10:00 岩屋の大桜に立ち寄る。



傍に立つ案内板。



10:03 引き返し、ヤブを抜ける。



キンミズヒキ



10:06 民家が見え石垣の下を通過する。



10:10 ヒロハトラノオ



ヒガンバナ



10:12 岩屋休憩所に到着。



傍に立つ案内板。



10:14 分岐に出会い、右へ向かう。



分岐の案内板。



10:16 道なりに進む。



10:20 最後の民家の入口で、暫く雨宿りする。



10:28 民家から直角に折れ、農道を緩やかに下って行く。



10:29 南西を振り返ると棚田が広がる。



10:35 サワヒヨドリ



10:37 ミゾソバ



10:39 沢沿いに緩やかに下って行く。



10:41 オトコヨウズメ 実



10:43 岩屋分岐の市道に出会い、右へ向かう。



降りて来た道を振り返る。



市道の舗装路を南西に進む。



10:44 直ぐ左に北門分岐と出会う。



10:45 イナカギク



鬼ノ城北門へと向かう。



10:48 間隔のあいた丸太階段を登って行く。



10:50 シダ帯を抜ける。



10:56 前方に北門の石垣が見えた。





北門の石垣に沿って進む。初めて目にした時、神籠石とは違い、大野城、基肄城に見られる石積みに似ていると思った。



10:58 北門左の石積。



北門右の石積。



左門柱の穴。



北門左の石積の裏込め状態。



11:00 内側から見た北門。



北門の説明板。



11:03 土塁を南に少し進むと展望Aで、西の山並みが望まれる。



11:07 引き返し、赤土の上り坂を行く。



11:10 マサ土の下り坂を行く。



11:11 小門を通過する。



11:14 土壘を通過する。



11:16 展望B 北東の山並みが望まれる。



11:17 石垣際の露岩帯を進む。



11:18 温羅遺跡碑を通過する。



11:20 緩やかに下って行く。



11:23 前方に石碑が見えて来た。



11:24 その先の高台から屏風折れの石垣を見る。



屏風折れの石垣

鬼ノ城で最も著名な高石垣です。血吸川の急崖上に舌状に構築されており、内側列石や敷石が残っていることから、建物等は存在しない可能性が高いと考えられます。



鬼ノ城

SITE OF KINOJYO CASTLE

千 数百年前、温羅（うら）と呼ばれる一族が朝鮮より渡り来し居住したといわれており、付近の城壁は、当時のなごりだともいわれています。

また鬼ノ城一帯は、平安時代に新山、岩屋とともに山上仏教が栄え、大規模な伽藍（がらん）が多数立ち、ならび、西方教化の中心地であったといわれています。

総社市

SOJA CITY

11:26 傍に立つ案内板の拡大。



11:28 内側列石は方形切石であるが整形が粗く神籠石とは違う印象を受ける。長さ70cmほど。



11:30 東端から屏風折れの石垣の平面の広がりを見る。



南側から見た東端の石垣。



南側東端から見た南面の石垣。



11:32 南面中間点から見る東端方面の石垣。



11:34 土手状遺構の案内板を見る。



土手状遺構。



11:36 第5水門跡を見る。



11:38 露岩の間を登り抜ける。



11:39 トラロープを通過する。



11:43 鍛冶工房跡を見る。



11:46 東門と案内板。



11:49 第4水門跡を通過する。



11:50 手摺階段を登って行く。



11:52 所々で見える鬼城山案内図。



11:54 高石垣に到着。



山側の巨岩に千手観音が彫ってある。



11:56 高石垣から東門を見る。



11:57 高石垣の内側列石。



12:01 高石垣の内側に敷石が見られる。



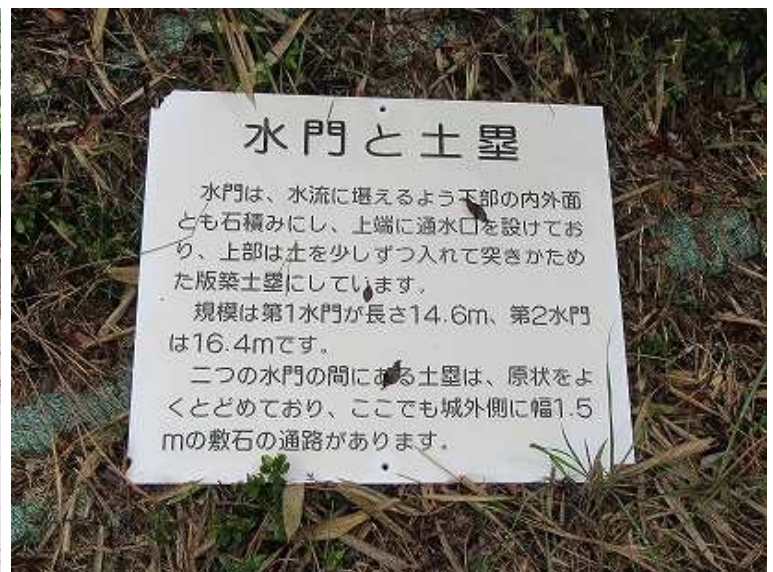
12:06 南門と案内板。



12:09 谷側から内側に列石が並んでいる。区切りを作る必要性は何か？



12:14 水門分岐に出会い水門へ向かう。



12:15 水門と土塁の案内板。



第2水門。水平目地を通る所もあり、布積みで基肄城南門跡の石積みに酷似しているようだ。



排水口が石積の上部に見られる。



12:17 直ぐ先の第1水門は排水口を持たない。左側



第1水門 右側



第1水門の案内板。



12:23 神籠石状列石の案内板を見る。



神籠石状列石が続くが、九州の神籠石との類似点は見当たらない。



12:26 第0水門と版築土塁の城壁の奥に西門を見る。



木製階段を上がる。



12:28 敷石伝いに西門へ向かう。



12:30 内側から見る西門。



12:32 背後の東屋に立ち寄る。



壁に展望パネルが設置してある。



12:34 東屋から鬼城山(397m)方面を望む。



12:36 角楼跡に下る。



角楼跡の案内板。



12:37 角楼跡から見る西門。



12:39 西門へ下る。



12:40 西門を出る。



12:42 正面から西門を見る。



東側の城壁と敷石。



西側城壁に沿って進む。



12:44 西門を振り返る。



12:45 駐車場へと緩く下って行く。



12:47 鍵岩展望台へ立ち寄る。



12:49 鍵岩展望台からの西門。



12:50 鍵岩。



12:54 駐車場分岐の案内板を見る。



12:55 鬼城山ビジターセンターへ立ち寄り。



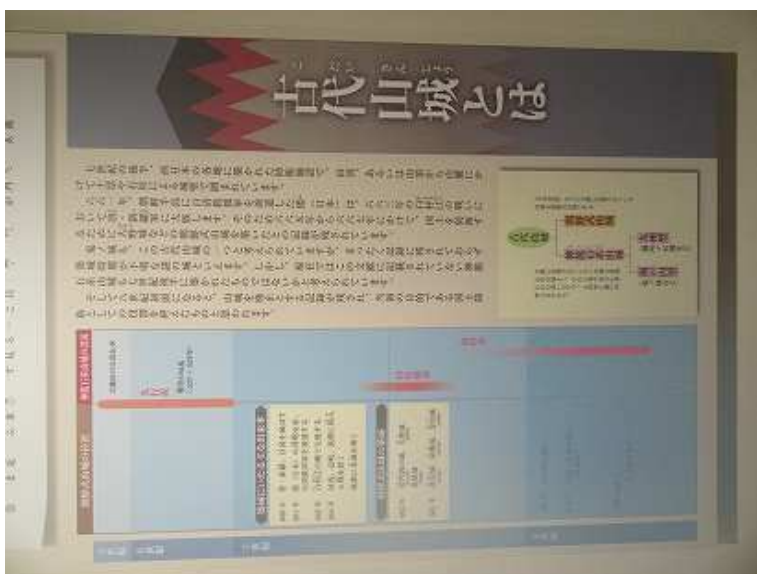
展示1



展示2



展示3



展示4



13:07 駐車場に帰り着いた。